

Course number		U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：イノベーションと経済社会 ILAS Seminar :Innovation and Economic Society		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Office of Institutional Advancement and Communications Program-Specific Professor,KITANI TETSUO Office of Institutional Advancement and Communications Program-Specific Associate Professor,MATSUYUKI TERUMASA	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits		2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman)	25 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Thu.5
Classroom	(Main Campus)				Language of instruction	Japanese
Keyword	イノベーション / 経済 / 企業 / アントレプレナーシップ					
[Overview and purpose of the course]						
このゼミでは、技術経営、経済学、社会思想という枠にこだわらず、視野を広く取ってイノベーションに関する問題意識の発掘に努めます。						
社会の制度や組織の革新といった非技術的な革新も含む広義のイノベーションの概念や、その意義、あるいはイノベーションと経済・社会との関係、イノベーションを生み出す経済や社会の諸条件やアントレプレナーの役割についても考えを深めます。						
イノベーションのあり方は国や地域によって大きく異なります。イノベーションを支える社会思想や制度はどのようなものなのでしょうか？あるいは、どのような人たちがイノベーションの担い手となっているのでしょうか？イノベーションに関する書物の輪読、および身近な対象に対する調査を通じ、イノベーションの概念を用いて現代社会を再考してみます。イノベーターの視点から見ることによって何が違ってくるのかについても考えてみたい。						
[Course objectives]						
1．「イノベーション」とはどのような概念なのか理解する。 2．イノベーションと経済・社会の連関について考えを深める。 3．イノベーターの視点から社会を見るときはどのようなことであるのか理解する。						
[Course schedule and contents])						
イノベーションに関連する書物を輪読する。必ずしも技術経営、経済学、社会思想という枠にこだわらず、イノベーションにかかわる書物を通じ、視野を広く取って問題意識の発掘に努める。						
下のような課題について、教科書を指定してそれぞれ4週程度の輪読をする予定である。担当箇所についての担当の参加者による報告のあと、参加者全体で、書物を基にした質疑応答を行う。 ・イノベーションの前提条件 ・イノベーションの担い手 ・イノベーションのエコシステム						
本年度教科書として指定する書物を輪読する。なお、輪読の進行具合に応じて別途指定する教科書を追加する、もしくは簡易なフィールド調査を課すことがある。						
Continue to ILASセミナー：イノベーションと経済社会(2)						

ILASセミナー：イノベーションと経済社会(2)

第1回 イン트로ダクション

第2～5回 教科書 1 輪読

第6～9回 教科書 2 輪読

第10～13回 教科書 3 輪読

第14回 まとめ

第15回 フィードバック

**[Course requirements]**

None

**[Evaluation methods and policy]**

平常点 (50%)

8割以上の出席を求めます。

質問や討論など、授業への積極的な参加を求めます。

発表 (50%)

輪読の際に担当部分の要約および感想・疑問点についての発表 (各人3～4回)

**[Textbooks]**

太刀川英輔 『進化思考 [増補改訂版] 生き残るコンセプトをつくる「変異と選択」』 (海士 of 風, 2023) ISBN:978-4909934031

ベン・ホロウィッツ 『HARD THINGS』 (日経BP, 2015) ISBN:978-4822250850

安斎勇樹 『冒険する組織のつくりかた「軍事的世界観」を抜け出す5つの思考法』 (テオリア, 2025) ISBN:978-4799331170

**[References, etc.]**

(References, etc.)

別途プリントを配布することがある。

(Related URL)

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/venture/ims/>(イノベーション関連のプログラム他)

**[Study outside of class (preparation and review)]**

各回の演習の前には、その回でカバーする書物のページ (事前に指定します) を全て読了の上、不明点や質問事項を明確にしておくこと。

**[Other information (office hours, etc.)]**

簡易なフィールド調査を課す場合、必要な交通費などは受講生負担となる。

オフィスアワーについては授業初日に説明する。

イノベーションや起業についての関連科目については以下を参照すること

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/venture/ims/>

以下が聴講可 (無単位)

技術イノベーション事業化コース (実習)

サステイナブル・ガストロノミー (演習)

**[Essential courses]**